

地域医療により大きく貢献!!

いのち、 痛みに全力

FUKUOKA WAJIRO HOSPITAL

VOL. 43

2019 / June

CONTENTS

- ❶ 院長挨拶
- ❷ 餅つき
- ❸ 健康フェスタ
- ❹ 新年会
- ❺ 特集 認定看護師
- ❻ 九州DMATブロック訓練
- ❼ 院内BCP訓練
- ❽ 空港訓練
- ❾ TAVI講演会
- ❿ リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018福岡
- ⓫ 第4回 福岡和白病院緩和ケア研修会
- ⓬ 東区北部ブロック地域包括ケアネットワーク医師部会
- ⓭ 舞松原公民館主催防災訓練
- ⓮ 東区子ども会 ホワイトバード見学

社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院

基本理念

手には技術
頭には知識
患者様には愛を

基本方針

- 1.高度医療 学問的に高い水準の医療を提供します。
そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。
- 2.チーム医療 患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援までニーズに沿った医療を提供します。
- 3.地域医療 いつでもだれでも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。



新年のぐい挨拶



新年あけましておめでとうございます。

本年が皆様方にとって素晴らしい年となることを心より祈念いたします。また、平素より当院に對しまして種々ご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

福岡和白病院は現在地に移り14年目を迎えます。地域の基幹病院として、開院当初から変わらず、24時間365日の救命救急に取り組んでまいりました。皆様の信頼を得て、救急搬送は年々増加し最近では年5500件を超えるまでになっています。同時に高度先進医療の充実を図

り、診療科間、職種間の垣根を払い、患者さん中心のチーム医療の体制作りに取り組んでまいりました。

一昨年、福岡市内で2番目の実施施設に認定された経力ターゲル大動脈弁植え込み術(TAVI)は、これまで30余名の患者さんに施行され全例無事退院されました。人工心臓を使用した手術には到底耐え切れない超高齢者の患者さんが、手術翌日には歩き、



社会医療法人財団池友会
福岡和白病院 院長 富永隆治



元気に退院される様子を見る度にこの治療法の素晴らしさが実感されました。卓抜した治療成績は前述したチーム医療の賜物だと考えています。昨年更新した心臓関係の2台の血管造影装置に引き続き本年は脳外科専用の血管造影装置の入れ替えを予定しています。心原性の脳梗塞に対する血栓吸引療法の進歩は目を見張るものがありますが、新たに導入する上級機種は高解

像度で被爆量もすくなく、更に治療成績が向上するものと期待されます。昨年11月に乳がん手術症例が1000例を超え、それに合わせ新機種のマンモグラフィを導入いたしました。以前より鮮明な、しかも3D画像が得られ、CT、MRI、超音波診断と合せ、乳がんの検出率が大幅に向上するものと思われます。今年もキャンサーボード、がん化学療法室、癌相談室、緩和ケア外来等のさらなる充実を図り、病院を上げてがん撲滅に取り組む所存です。本年も地域の医療機関や介護関係者の皆様との連携を深め、安全で質の高い医療を患者さまにご提供すべく精進し、地域の皆様方から信頼される病院であり続けるよう、職員一同努めてまいりますので、変わらぬご厚誼、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

第1回

健康フェスタ



11月4日(日)福岡和白病院内駐車場にて「第1回 健康フェスタ」が開催されました。当日は、見事なまでの秋晴れに恵まれ、2500名以上の方々にご来場をいただきました。

メインステージでは、地域の団体によるフラスバンドやキッズダンス、ひよこご踊りにフラダンス、和太鼓などを披露していただき大変盛り上げていただきました。またフードコーナーや健康測定ブース、キッズコーナーも大盛況で賑わいを見せておりました。ステージ出演者並びにテナント出店者の皆様、本当にありがとうございました。初めての開催で多々不備もあり、予想以上の来場者ですべての方に十分な対応ができない場面もございましたが、盛況のまま閉会することができました。今後とも地域の方々に貢献できるような病院を目指して進化し続けていきます。



九州沖縄 DMATブロック訓練

平成30年11月10日・11日の2日間で開催された九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練に参加しました。メンバーは当院、総合診療救急科副部長の白馬医師、心臓血管外科の村田医師をはじめ看護師1名、事務2名、計5名で参加しました。大雨洪水警報が発表されるなか、種子島東方沖を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生した想定で訓練は実施されました。要請を受け「えびの市国際交流センター」に参集後、病院支援の指示を受け鹿児島県の池田病院で医療支援活動を行いました。2日目は、肝属川河川敷にて、SCU（広域医療搬送拠点）にて患者を被災地域外に搬送する訓練に参加しました。訓練に参加する事で、いつ起こるか分からない災害や事故に対して、私たちDMATの役割を再確認し実働に備える訓練となりました。



BCP訓練



平成30年11月17日、BCP訓練を実施しました。自院が被災したら、どのように行動したら良いのか。大規模な災害はいつ起こるか分かりません。BCPとは大災害や事故などの被害を受けても重要な業務が中断しない事、若しくは中断しても可能な限り短時間で業務を再開させる事を目的として策定されるマニュアルです。今回、福岡和白病院ではBCPに基づき訓練を実施し、その中でさらに問題点を職員間で共有しBCPを改善し作成する事を目的とし訓練を実施致しました。



空港訓練

今回の空港訓練では、福岡空港内で航空機事故が発生した想定で訓練を行いました。当院DMATチームは黄色テント内で中等症患者様の処置、トリアージを行いました。他病院のDMATチーム、消防、自衛隊と協力し患者様の処置、トリアージを行いました。今回の経験を活かして今後の業務に活かしていきます。



series
1

看護師紹介

時代に即した看護師の働き方



●はじめに

福岡和白病院は、昭和62年、救急医療を中心に地域密着型病院として開院しました。186床でスタートした病床数も平成25年回復期病床を開設し、現在369床となりました。開院して31年、変わらず地域の方が安心して医療を受けられるように、先を見据えた医療を提供しています。看護師の活動も「手には技術・頭には知識・患者様には愛を」をモットーに現在では518名の看護師が患者様へのケアに従事しています。



●看護師に求められること

看護師も急性疾患だけでなく老人慢性疾患や重度の要介護者、認知症の患者様に対するケアなど、地域のニーズに見合った幅広く高い水準の看護を提供することが求められます。そしてそのサービスを切れ目なく効率的に提供できるようにすることも重要と考えています。そこで当院では、外来や病棟以外で活動する看護師を積極的に受け入れています。今号よりこのような時代に即した看護師の働き方についてシリーズで紹介したいと思います。

●救急病院の役割

今、日本の医療は、「団塊の世代」がすべて75歳以上となる2025年には医療・介護にかかる財源や医療従事者を確保することは容易ではないと言われています。そこで国が医療政策として進めているのが、「病院完結型の医療」から「地域完結型の医療」です。これは短期的に集中した治療を行って社会復帰させる医療から、高齢化に伴って慢性疾患や複数の持病を抱える人が増えることから、病気と共存しながら日々の生活があくれることを目指した医療に大きく変わってきているということです。そのような中で、さまざまな病気を抱える患者様の治療を行い、希望する場所にできるだけ早く帰っていただけるように、高度な医療を提供し続けることが、地域に根付いた救急病院である当院の役割であると考えています。



平成30年4月に診療看護師が誕生しました!

●診療看護師が誕生した理由

診療看護師は、地域や診療科による医師不足や複雑化・多様化・重症化する医療の中で、患者様に効果的で効率的なケアを提供するためには、医学の知識をもち、看護と医学の両方の視点を持ち医療的介入ができる看護師が必要であるとの考えから、アメリカのナースプラクティショナー(Nurse practitioner:NP)を参考に誕生しました。アメリカでは家庭医や都市部の貧困層のための医師が不足し、人種や差別に対する促進を解決するために1965年に養成が始まりました。NPは医

師以外の診療師として4割の州では医師と協力して、5割の州では自律して診断、治療、薬の処方を行い、2018年には25万人が活躍しています。日本の診療看護師の養成は、2008年4月に大分県立看護科学大学大学院修士課程で開始され、2018年3月現在359名になります。主に病院、診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設などで活動しています。



診療看護師
三島 裕子



東区北部ブロック 地域包括ケアネットワーク 医師部会

9月7日(金)当院にて「東区北部ブロック地域包括ケアネットワーク医師部会」を開催いたしました。
この会は、東区の在宅医療を支援することを目的に、東区の拠点となる複数の病院がブロック支援病院となり、近隣開業医の先生方と意見交換などを行うものでございます。当院は東区北部のブロック支援病院の役割を担っております。

当日は、東区北部エリアの開業医の先生方(医師20名、医療従事者等13名)にお集まり頂き、ブロック支援病院の病院機能紹介や医療情報ネットワーク(とびうめネット)の活用を含めた在宅医療支援についての話しを聞いて頂きました。意見交換時には、小グループに分かれ開業医の先生方から、「とびうめネットの使い難さ」や「訪問診療を専門で行っている医師会未入会の先生へのアプローチは？」など活発な意見が上がり、東区医師会の石橋会長は、あがった意見を課題として考え、今後も意見交換を継続していきたい意向を示されました。当院も開業医の先生方、協力していただけるよう務めて参りたいと思います。



TAVI講演会

平成30年11月30日(金)に福岡和白病院にて福岡市東区医師会共催の特別講演会を開催いたしました。今回は当院にてTAVI(経カテーテル大動脈弁植え込み術)が30症例実施されたことを記念して、当院心臓血管外科医の手島英一と循環器内科医の仲村圭太がTAVIの適応や手技、当院の実績などについて講演し、特別講演として九州大学病院の有田武史先生より「最新の弁膜症血管内治療」についてお話しをして頂きました。

また、講演会後の意見交換会では、実際のTAVI弁や生体弁、ステントグラフト、下肢レーザー治療器の展示や3D内視鏡のデモンストレーションなどを行い、ご参加の皆様は大変楽しんでおられました。他施設の先生方や救急隊の方などを含め30名以上の方々にご参加をして頂き、誠にありがとうございました。



舞松原公民館主催防災訓練

平成30年11月23日(金)祝日に舞松原小学校にて舞松原校区自治協議会・舞松原公民館主催防災訓練へ参加しました。震度7での震災を想定し、地域高齢者の安否確認、避難誘導から始まり、体育館内では、たかもとホームクリニックの高本勝博医院長による「自主防災、日頃からの心掛け」をテーマとした講話や、あんりーダー会東支部(防災士会)による防災グッズの展示に説明、当院災害支援看護士による講話、救命講習などの防災に関する内容で盛り沢山でした。その後、東消防署消防車での放水を見学、当院のドクターカーにて校庭まで模擬負傷者を搬送し、災害による悪路、渋滞のために陸路搬送を断念し、ホワイトバード(医療用ヘリコプター)にて病院までヘリ搬送するシミュレーションを見学していただきました。皆さんの防災意識が高まる中、災害拠点病院として参加させていただきありがとうございました。また、東消防署多々良出張所様、福岡市立舞松原小学校様の御理解、御協力に感謝致します。



リレーフォー・ライフ・ジャパン 2018福岡

平成30年9月8日(土)に海の大道海浜公園(光と風の広場)で開催されたリレー・フォー・ライフ・ジャパン2018に参加してきました。

これは、毎年9月に開催されているがん患者支援チャリティイベントになります。

福岡和白病院は、今年で4回目の参加となり、毎回各部署から職員が集まりチーム参加しております。活動としては、血圧測定や血管年齢測定などの健康チェックをするブースを出しております。お客様からは、毎回いろいろな健康チェックをしてもらえるので見に来るのが楽しみとお声がけもいただき、今回も大盛況のうち無事終了することができました。

この度は、イベントに参加させていただき心より感謝申し上げます。今後も継続して参加をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



東区子ども会 ホワイトバード見学

1月20日(日)東区子ども会の小学校5年生と6年生の子供たち約30名が、子どもリーダー研修として当院のホワイトバード(医療搬送用ヘリコプター)の見学に来てくれました。

当日は、冷たい風が吹いていましたが、皆さんヘリポートの高さに少し緊張しつつ、ホワイトバードを見学して頂き、子供たちだけではなく、引率の大人の方も大変喜ばれていました。

また、当院の放射線技師によるMRIやCTなどの画像検査、放射線治療についての講義も行い、当院について知って頂く機会となりました。

寒い中にご参加いただいた方々、ありがとうございました。



第4回福岡和白病院緩和ケア研修会

平成31年1月20日(日)に第4回福岡和白病院緩和ケア研修会が当院大会議室にて開催されました。今年は新カリキュラムでの開催で集合研修(1日)が開催されました。

今回、参加予定の医師全員が参加され、がん症例のディスカッションや診察形式のロールレイスをしたりしました。大変勉強になったとの声も聞かれる中で無事研修を終了いたしました。

この研修は、がん対策推進基本計画に基づいた研修で修了された方は、後日、厚生労働省より修了証書が発行されることになっております。

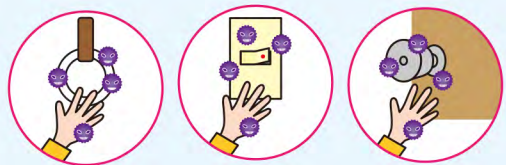


感染予防は手洗いから

手洗いは、感染を防ぐ上でとても重要です。
家の中や外には、目に見えないたくさんの菌が
付着しています。

菌は目に見えないので、知らず知らずのうちに
菌をもち込んだり、もち出したり、広げたりする
ことが考えられます。手洗いをする前に食事を
したり口元に触れたりすることによって、菌が口
などに入り、感染は起こってしまいます。

手洗いは、感染経路を遮断するためにとても大
切なのです。



手洗いの手順例(サラヤ株式会社より引用)

大事な朝ごはん



寒い日が続き朝食を食べるよりも温かい布団で寝ていたい、ダイエット中だから朝食は
抜こう、時短のために朝食は抜こう…そんな習慣に当てはまっている人はいませんか?
朝ごはんは胃袋を満たすためだけではなく、大切な役割があります。

1日のリズムを作る

食は脳に1日の始まりを告げる大切な役割を担っています。その朝食を抜くと体の中の
リズムが崩れ、体調不良など健康状態の悪化につながります。

脳のエネルギーを補給する

脳のエネルギーはブドウ糖です朝食を抜くとブドウ糖の供給が上手くいかないため頭
が働かず、なんとなくイライラしたり、ボーっとするなど勉強や仕事に集中出来なくなり
ます。

小学生の学力を朝食欠食有無で比較したところ朝食有の小学生の方が学力も上だっ
たというデータもあるそうです。

体温を上昇させる

朝食を摂ると体が温まり、体温の上昇とともに脳のウォームアップが出来ます。そうする
と脳が活性化し「やる気」が起きます。

ワンポイントアドバイス



前日の夜ご飯の残りを
利用しましょう

ご飯と味噌汁でもOK。お味噌
汁に野菜に加え、お豆腐や卵を
入れれば野菜とタンパク源をとれ
ます。

コンビニを利用しましょう

「おにぎり」または「サンドイッ
チ」と「野菜ジュース」または
「野菜スープ」がおすすめです。
最近ではコンビニで野菜スー
プなど手軽に購入できるので
活用しましょう。



災害拠点病院 開放型病院 地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院 基幹型臨床研修指定病院



日本医療機能評価機構

社会医療法人財団 池友会

福岡和白病院

福岡和白

検索

〒811-0213 福岡市東区和白丘2-2-75

TEL.092-608-0001(代)

E-mail:info@f-wajirohp.jp

ホームページ <http://www.f-wajirohp.jp>

フェイスブック <http://www.facebook.com/wajiro>



ホームページ



フェイスブック